○研　究　内　容

【指導内容の工夫】
新聞斬り、スポーツチャンバラ等を行った

【指導隊形の工夫】
指導者・手話通訳者がよく見えるように、半円にした

【指導方法の工夫②】
基本打突は、教員を相手に行った

【指導方法の工夫①】
用語カードと手話による説明を行った

【生徒の意欲の向上】

授業前のアンケートでは、「痛い」「厳しい」という剣道に対して意欲的でない回答が多く見られたが、生徒の実態に応じた指導を行うことにより、「楽しかった」「またやりたい」という意欲的な回答が多く見られるようになった。

事後アンケート結果（抜粋）

①興味や親しみを持つことができましたか。

㋐　はい	11
㋑　いいえ	1

②剣道を学んでみてどう思いましたか。

㋐おもしろい	7
㋑怖い	1
㋒強くなれそう	5
㋓痛い	1
㋔礼儀を重んじる	3
㋕厳しい	3
㋖歴史・伝統を感じる	1
㋗かっこいい	3
㋘集中する	4
㋙寒い	0
㋚その他	1

③来年も学んでみたいと思いますか。

㋐やってみたい	5
㋑できればやってみたい	5
㋒あまりやりたくない	1
㋓やりたくない	1

武道授業　実践の概要紹介

まんのう町における武道授業（なぎなた）の実践紹介

まんのう町教育委員会

まんのう町は香川県仲多度郡の３町（琴南町、まんのう町、仲南町）が、平成18年３月20日に合併して誕生しました。県南西部に位置し、面積は約194㎢で南北に広く、南側には標高１０００ｍを超える竜王山、大川山を主峰とする讃岐山脈が連なり、そのふもとを県下で唯一の一級河川、土器川が流れています。まんのう町は日本最大級の灌がい用ため池「満濃池」で知られていますが、他にも国営満濃公園や森林公園などもあり、豊かな田園地帯と豊富な自然に囲まれた町です。また、スポーツ少年団の活動に熱心に取り組む風土があり、特に、武道においては地域の指導者が指導にあたっており、毎年、全国で活躍する選手を輩出しています。

町内にはこども園６園、小学校６校、中学校１校あり、今回、実践を紹介する満濃中学校は町内唯一の中学校です。平成25年に新校舎となり、ゆったりとした学習環境が整備されました。体育館はバレーボールコート３面、武道場は剣道場を３面確保できる十分な広さがあり、町のスポーツ施設としても共用されています。運動場は野球部、サッカー部、ソフトボール部が同時に活動でき、隣接するテニスコートも４面あります。このような充実した環境の中で、生徒は学習や部活動に熱心に取り組んでいます。

生徒数は、１年生148名、２年生138名、３年生が155名、合計441名の中規模校です。生徒は、素直で任されたことは最後まで責任をもって一生懸命取り組み、何事も自主的・積極的に行うことが出来ます。

灌がい用のため池として日本一を誇る満濃池

1　保健体育の授業に「なぎなた」を取り入れた理由

本校は、平成27年度までは、保健体育科における武道授業は剣道を行っていました。昨年度より、なぎなたの専門的技能を持つ教師の配置があり、剣道となぎなたの選択履修になりました。なぎなたを取り入れる理由は次の４点です。

①なぎなたは、町内の小学校（四条小）において、平成18年度から３年間、文科省の指定を受け全校生を対象に年間14時間～15時間、体育専科教員と二人の外部講師により体育の授業の中で行われてきた。研究指定終了後の現在も年間４時間、体づくりの一環として継続されている。そのため、中学校入学時点で、経験者が各クラスに数名ずついて授業の中に取入れやすい。

②まんのう町では、地域の行事でなぎなたの演武やリズムなぎなたを披露する機会が多く、なぎなたの活躍の場が多く見られている。そういった機会になぎなたと出合う生徒もいて、なぎなたに興味を持っている生徒も少なからずいる。

③他校では、保健体育科の教員が講習会を受講したり、外部講師による指導を受けたりすることで、武道授業を実施する場合が多い。しかし、本校では、なぎなたが専門である保健体育の教師が在籍しているメリットを生かし、実態を見ながら細やかな指導をすることが出来る。また、興味関心を持たせることで、卒業後（高校での部活、社会体育での活動）につなげることも出来る。

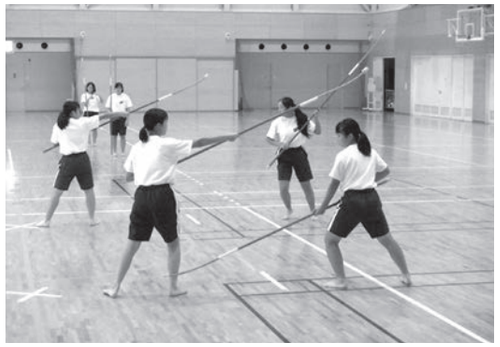
④はじめになぎなたを人数分用意しておきさえすれば、他の種目よりも簡単に実施することが出来る。また、怪我もほとんどなく、取り組みやすい種目である。

2　授業実践について

今年度は、３年生女子（68名）と１年生女子（76名）を対象として実施しました。

○３年生では、昨年の２年生時に８時間「打ち返し」を練習しており、基本的な形を履修済みです。今回は「しかけ応じ」八本ある形の中の、簡単に取り組みやすい「一本目・二本目」を学習することにしました。

１時間目
「打ち返し」の復習。一・二本目のしかけの練習


演技競技の様子（３年生）

演技の審判（３年生）

２時間目
一・二本目のしかけの復習と応じの練習。一・二本目のしかけ応じの練習

３時間目
４人のグループ練習①

４時間目
４人のグループ練習②

５時間目
競技会用のペアを決め、入退場の練習①

６時間目
競技会に向けての練習①

７時間目
競技会に向けての練習②

８時間目
競技会とともに審判①

９時間目
競技会とともに審判②

○１年生では、「打ち返し」を学習することにしました。

１時間目
オリエンテーション

２時間目
しかけの練習

３時間目
しかけの復習と応じの練習

４時間目
応じの復習とグループ練習（ｉＰａｄ使用）①

５時間目
ペア練習（ｉＰａｄ使用）②

６時間目
ペア練習（ｉＰａｄ使用）③

７時間目
テスト時のペア練習

８時間目
テスト

第１学年４・５組女子　保健体育学習指導案
学習指導者　教諭　山本由加理

１　日　時　平成２９年１１月　２日（木）　第３校時　体育館
２　単元名　武道「なぎなた」
３　本時の学習指導
（１）目　標
○　グループ学習を通して、打ち返しが正確にできているか確認することができる。
（２）学習指導過程

場面	形態	学習内容及び活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	全	１ウオーミングアップ（体育館周り２周） ２　本時の学習内容を確認する。	・　正しくできるか心配。	・　出欠、見学の確認をし、生徒の健康状態を把握する。
		学習課題：　打ち返しが正しくできるようにしよう		
展開	全	３　前時の復習をする。 (1)　打ち返し（打ち） 打ち返し（応じ）	・　覚えているのでできる。	・　教師が号令を掛け、同じリズムで同じ動きを繰り返すことで、一連の動作を確認する。
	4	４　模範の動画を撮る	・　動画による動きを確認して、正確な動きを理解する。	・　なぎなた部員に模範をさせる。
	4 2	５　グループで確認し合う (1)　ｉＰａｄを使い、動きや形の確認をする。 (2)　打ち返し	・　正確に打突していない。 ・　正確に受けられていない。	★　模範の動画を見て、互いに助言し合えるようポイントを理解させる。（構え、打突、発声など）
		発展：グループで動画を見ながら、つまずきを知り、正確にできているか確認しよう		
			・　動画を見て、正しい動きを教えることができる。	★　工夫して活動したり、良い声かけができたりしているグループを称賛する。
振り返り	全	６　本時のまとめ、次時の学習の確認をする。	・　教えてあげることができなかった。 ・　上手く教えてあげることができた。	・　授業を振り返り、頑張ったところを賞賛し、上手くできなかったところは、次時への課題とする。

演技の様子を撮影（１年生）

なぎなた部員による模範演武の様子（１年生）

動画を見て話し合い（１年生）

3　成果について

（3年生）

○教師より

・昨年より、興味を持って取り組んだ生徒が増えた。

・競技会を取り入れることで、何が大切なのかのポイントが分かった。その結果、授業で今まで以上に意識したり、審判員としての見る目が養われたりして、昨年よりも向上心を持って練習する生徒が増えた。

・審判をするとき、ペアでしっかり話し合い、よく考えて評価していた。

・競技会の結果から、「○点で負けたけど、楽しかった」「○位になれてうれしかった」「機会があれば、またやりたい」など、なぎなたの面白さを感じられた生徒が多くなった。

○生徒の感想より

・昨年より、なぎなたを好きになった。

・昨年より、見る目が養われ、友達同士でのアドバイスが出来るようになり、教え合い学習が出来た。

・競技会を取り入れることで、ペアと話し合いながら勝つための練習を考えることが出来た。

・審判の大変さが分かった。

（1年生）

○教師より

・経験者がどのクラスにもいるのは、未経験者でも経験者の動きを見たり、聞いたりすることが出来るので、取り組みやすかった。

・なぎなた部員の模範により、視覚で訴えることで動きを理解することが出来た。

・模範演技をすることで、部員も自信につながった。

・グループ学習では、班の中に部員や経験者がいることで、アドバイスがスムーズに行われた。

・iPadを使用することで、他生徒と見比べ、良いところ、出来ていないところを理解することが出来た。

○生徒の感想より

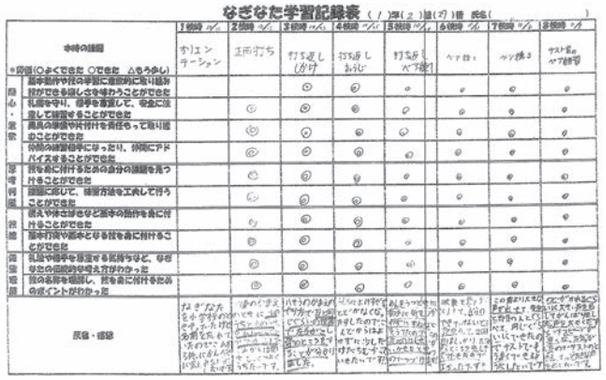
・武道場に入るときの礼や正座の仕方などを知ることで、和の心を学ぶことが出来た。

・大きな声で挨拶が出来るようになった。

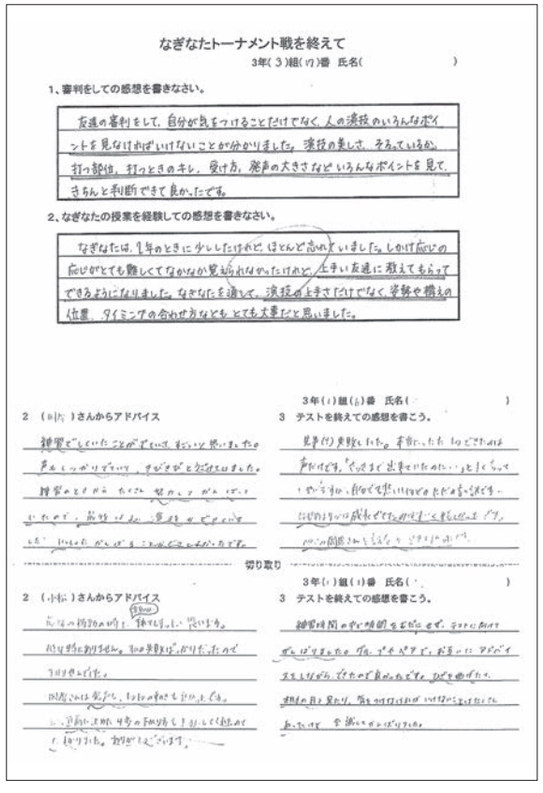
・姿勢が良くなった。

・iPadを使って模範演技と自分たちの動画を撮り、見比べることで違いがよく分かり、練習に生かすことが出来た。

・グループ学習やペア学習をすることで、お互いの良いところ、悪いところをアドバイスすることが出来た。


なぎなた学習記録表（1）年（2）組（7）番 氏名（　　）

本時の課題	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間
	かしこンテーション	正面打ち	打ち返し（分け	打ち返し おおじ	打ち返し（ペア）	ペア稽古	ペア稽古	テスト前のペア稽古
＊評価（○よくできた ○できた △もう少し）								
段心・姿勢 基本動作や技の手順に意識的に取り組めた			◎	◎	◎	◎	◎	◎
段心・姿勢 技ができる楽しさを味わうことができた		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
段心・姿勢 礼儀や切り、姿勢を意識して、安全に注意して稽古をすることができた		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
段心・姿勢 用具の準備や片付けを責任もって取り組むことができた		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
段心・姿勢 仲間の稽古相手になったり、仲間にアドバイスをすることができた		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
思考・判断・表現 技を身に付けるための自分の課題を見つけることができた		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
思考・判断・表現 課題に応じて、練習方法を工夫して行うことができた		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
技能 構え・体さばきなど基本の動作を身に付けることができた		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
技能 基本打突や基本となる技を身に付けることができた		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
知識 礼法や稽古を設定する配慮などを、なぎなたの伝統的な考え方がわかった		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
知識 技の名称を理解し、技を身に付けるためのポイントがわかった		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
感想・感謝	なぎなたを小学校のときにやったことがあるので、楽しかった。	少しずつ上手になっていくのが楽しかった。	八十八の動きがやっとわかってきたので、楽しかった。	八十八の動きが上手になってきたので、よかった。	八十八の動きが上手になってきたので、よかった。	稽古を通して、楽しかった。	2回目の試合で、楽しかった。	なぎなたやることが楽しかった。


なぎなたトーナメント戦を終えて
3年（3）組（17）番 氏名（　　）

1、審判をしての感想を書きなさい。

友達の審判をして、自分が気をつけることだけでなく、人の演技のいろんなポイントを見なければいけないことが分かりました。演技の美しさ、そろっているか、打つ部位、打つときのキレ、受け方、発声の大きさなどいろんなポイントを見て、きちんと判断できて良かったです。

2、なぎなたの授業を経験しての感想を書きなさい。

なぎなたは、1年のときに少ししたけれど、ほとんど忘れていました。しかし前の振りがとても難しくてなかなか覚えられなかったけれど、上手い友達に教えてもらってできるようになりました。なぎなたを通して、演技の上手さだけでなく、姿勢や構えの位置、タイミングの合わせ方などもとても大事だと思いました。

3年（1）組（5）番 氏名（　　）

2（小松）さんからアドバイス

練習でもよいことがでていた。もっと強い声を出したらよかったです。すばらしいと思いました。授業のときから、たくさん努力しているのがよくわかります。前よりはよくなっているのでこのままがんばってください。

3 テストを終えての感想を書こう。

見事(?)勝利した。本番にたたかうのできれば勝ちたい。「やってみよう」と思ってやってみよう。前よりもずいぶんはやくなってきた。だんだんうまくなってきたと思います。

切り取り

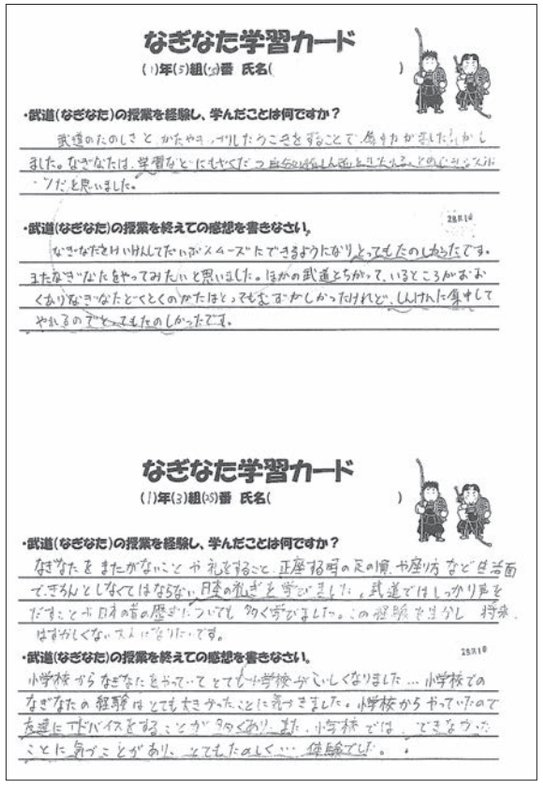
3年（1）組（1）番 氏名（　　）

2（小松）さんからアドバイス

前の稽古の時と、強くなったと思います。

3 テストを終えての感想を書こう。

練習時間のやり方が明確でなかったので、なかなかうまくいかなかったのが、残念でした。でも、みんなが、とても、お互いにアドバイスをしながら、仲よくやっていて良かったです。次の試合は、勝ちたいです。


なぎなた学習カード
（1）年（5）組（25）番 氏名（　　）

・武道（なぎなた）の授業を経験し、学んだことは何ですか？

武道のたのしさとかたやかっこいったりこさをすることで、強くなれたかもしれました。なぎなたは、学習などにもやくだつ自分の新しい面を見つけられる。とても心をこめるものだと思いました。

・武道（なぎなた）の授業を終えての感想を書きなさい。

なぎなたをけいけんしてたいぶスムーズにできるようになりとってもたのしかったです。またなぎなたをやってみたいと思いました。ほかの武道とちがって、いろいろなかおくなりなぎなたとくとくのかたほうでもなるむずかしかったけれど、しんけんに集中してやれるのでとってもたのしかったです。

なぎなた学習カード
（1）年（3）組（15）番 氏名（　　）

・武道（なぎなた）の授業を経験し、学んだことは何ですか？

なぎなたをまったくないことや礼をすること、正座（礼）の仕方、など生活面できるようになってはならない。昔の礼ぎを学びました。武道でもしっかり礼をすることや日本の昔の歴史についても多く学びました。この経験を生かし、将来はすばらしくない人になりたいです。

・武道（なぎなた）の授業を終えての感想を書きなさい。

小学校からなぎなたをやっていてとても小学校がうれしくなりました…小学校でのなぎなたの経験はとても大きかったことに気づきました。小学校からやっていたので友達にアドバイスをすることが多くありました。小学校ではできなかったことに気づくことがあり、とてもたのしく…体験でした。

4　今後の課題について

・基本練習ばかりだと飽きてしまうので、変化や動きのある内容を組み立てていかないといけない。

・学年に応じた学習内容をしっかり考え、指導していかなければならない。

・武道を学習することで、学んだことを日常生活の中で生かせられるようにしたい。

5　おわりに

はじめは、なぎなたを苦手とする生徒が多かったが、授業を進めていく中で、打突の練習、試合、審判、教え合い学習が楽しいと感じる生徒が多くなってきました。

授業においては、武道の歴史、礼法などを学習していく中で、枠にとらわれ過ぎずに、「楽しかった」「またやってみたい」と生徒が思えるような指導をしていかなければならないと痛感しました。

そのためには、学習指導計画をきちんと立て、ワークシートや学習用具の準備などにより一層の改善を図っていかなければならないと考えさせられました。

今後も「なぎなたの授業を受けてよかった」という生徒が一人でも多くなり、学んだことを日常生活の中で生かすことが出来るよう、授業の充実に努めていきたいと考えています。